

2020年8月26日

肝硬変患者の上部消化管出血に対する予防的抗菌薬の有効性・安全性と
医療経済的影響に関する後ろ向き研究

◆研究の目的と概要◆

当院では、上部消化管出血で入院された肝硬変患者さんについて、抗菌薬予防投与の有効性や安全性、医療費への影響を調べることによって、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

肝硬変と診断されており、2010年1月から2019年12月までの間に上部消化管出血の診断で当院に緊急入院された入院時20歳以上の方。

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、肝臓病の原因や重症度、これまでの治療経過、各種身体所見や血液検査・内視鏡検査の結果、入院中の治療内容、治療後の経過、入院治療に要した医療費と内訳

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

消化器内科 研究責任者 真野 俊史

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明